

各社の取組事例集まとめ

3.自社の安全対策

取組 No	取組内容	取組によって得たメリット及びデメリットなど	類似事例の都道府県
カメラ設置			
1	工場に死角が無いように、監視カメラの設置・防犯カメラの設置	メリット： ・安全意識の向上、さぼり防止等多方面での管理行動解析により作業能率が向上した ・見られている緊張感と、安心感があっていいと評価があった ・従業員の安全確保/防犯対策/企業の信頼性向上など様々な面で有益である ・作業状況がリアルタイムで確認でき、危険作業を行っている場合はすぐに注意することが出来る。 ・工場内作業員からの不満（監視されている）が出たものの現在は特になし。何かあった時のため有効であると判断。	北海道、石川、滋賀県、大分
2	工場と事務所との渡り廊下の扉に、センサーライトの設置、扉での衝突災害の防止	メリット： ・安全確保	北海道
3	トラックにバックモニターを取付	メリット： バック時の視認性が高まり人がいないか、物が無いかなどを確認しやすくなりとてもいい。	奈良県
吊り具等点検			
4	クランプや吊具をメーカーに定期的に点検・購入（問題のないものについてはその月に応じたカラーテープを巻いて分別）	メリット： ・定期的な点検で事前に部品交換を行うことができる ・点検記録を提出してもらうことで記録保持も可能になった ・安全に安心して作業出来る（安全性の向上） ・吊り具の破断がなくなった ・吊具を見る機会が増え、傷んだものの取り換えや修復活動が活発になった デメリット： ・点検を任せられる分、高コストだったり、維持費がそれなりに発生する ・年間契約は契約料が高価 ・吊具として一番使うので悪くなったり足らないとすぐ購入するようにしているが、大事に使ってない気がする…	北海道、千葉県、三重県、大阪府、高知県、兵庫県、大分県、滋賀県
5	ダブルロープスリングの使用（重量軽く・やわらかい・丈夫） 一般的な玉掛ロープよりも、長期間・安全に使用可能（軽いので抜き差しの際の安全性あり） 傷防止のためにワイヤー、チェーンを使わずにすべてスリングに変更	メリット： ・一般的な玉掛ロープよりも、長期間・安全に使用可能（軽いので抜き差しの際の安全性あり） デメリット： ・スリングの劣化がわかりづらく破断するときがある	北海道、大阪、宮崎県
6	柱・梁の回転治具を導入	メリット： ・回転治具を使用するためクランプ傷が少なくなり、安全に作業ができる ・クランプ使用時の事故が減少 デメリット： ・納期が逼迫した工事になると回転機を使わずクランプ使用（一度クランプに戻ってしまうとなかなか回転機を使用しなくなる）	兵庫県、山口県、和歌山県
安全パトロール・安全対策			
7	月1回の安全パトロールの実施月に一度工場で作業している以外の人間で、パトロールを行い見回る 後日指摘事項と工場側におしつけるだけでなく、パトロールした人間から改善提案を行う 社内安全教育研修会の定期実施・月一回の勉強会	メリット： ・安全意識の向上、定期的な巡回により、危険行為が減少した ・大きな事故防止につながる ・安全パトロール実施、周知ポスター発信により ・不安全作業減少、工場内外の整理整頓の向上+安全作業の意識UP ・怪我の減少 ・年始に計画をして必ず遂行する事で社員の安全意識が高まった （実施内容として社内安全パトロール、服装点検、機械の点検など） ・油断や、慣れなどによる事故の防止 ・安全に作業を行うための知識や技術が身についた。 ・危険を理解して安全な行動を取ることができた。	北海道、富山県、福井県、山形県、東京都、埼玉 県、三重県、鹿児島県、沖縄県、長野県、京都 府、大阪府、福岡県
8	安全マニュアルの作成	メリット： ・経験の浅い作業員でも、危険ところを掴むことができた。	富山県
9	実際にヒヤリハットが発生した場所での研修・総括を行う	メリット： ・現場で研修を行う事で日ごろから注意するようになる ・年間通じての事故及びヒヤリハット発生状況、内容について改めて報告 ・反省も含めより安全に対する意識を高めている。 ・ヒヤリハットの報告は消極的になりがちなため、口頭での報告に加え目安箱の設置や記録ノートの活用をしている ・月末に実際にあったヒヤリハットを深掘りして検証 ・原因や防止策を社員同士で議論することで、理解を深め重大事故の発生を防ぐ。	山形県、沖縄県
10	安全衛生コンサルタントと契約し、定期的な工場の巡回 外部の講師に依頼して安全も含めた5S活動を実施している 各工場月に1回講師と共に巡回している	メリット： ・初回の診断は不安前面が多く、指摘も多く酷い有様だったが、回数を重ねるごとに社員の意識も高まってきて、今では指摘がほぼ無くなった。 ・事故も減り、工場もキレイになってきている デメリット： ・10分間清掃の時間を設けているが、やる人・やらない人がいる ・5S活動がマンネリ化している	新潟県、栃木県
11	製品が長い場合は、天井クレーン2台で製品の移動 できる限りクレーンの無線化	メリット： ・安全確保長い部材の振り回し等、有線だとかなり危険を伴う作業であったが、かなり安全にできるようになった。ただし、無線でも有線でも別の要因で怪我をする人はいたが。 ・1点吊りをする事がなくなり、必ず2本吊りで作業する様になり、安全に作業する様になった。	北海道、三重県、宮崎県
12	特に大きな材料を扱うことになりそうな場合など、既存の道具を無理して使って作業するのではなく、無理なく作業が出来るように各工事ごとに準備器具の確認、作業手順の確認を社内で事前に打合せして製作に取り掛かるようにしている。扱う材料の形状、重量に応じ、適切にクランプやスリングなどを準備する	メリット： 実施し始めて、目立った事故が無い	福岡県

熱中症対策			
13	スポットクーラー導入・大型ファン導入	<p>メリット： ・労働環境の改善</p> <p>デメリット： ・一人一台というわけではないので休憩時間に取り合いになる</p>	千葉県、京都府、高知県、奈良県、京都府
14	猛暑対策として、休憩所の増設	<p>メリット： ・働く環境を会社が考慮していることに、理解を得られた</p>	京都府
15	空調服（水冷服）の支給	<p>メリット： ・熱中症対策 ・鉄工所の工場勤務において、『夏は暑く冬は寒い』事は変えられない。そんな中出来る対策をして、熱中症事故0に出来た事が成果 ・水冷服と空調服の併用でピーク時の高温に対応できた</p> <p>デメリット： ・冷たい時間が短いという事と、ペットボトルの水の重さで肩が凝り、着用しなくなった</p>	新潟県、山形県、奈良県、栃木県、石川県、沖縄県、三重県
16	<p>休憩所に冷蔵庫・製氷機・塩飴・OS1・経口飲料水・アイスなど用意 熱中症アラームのなるリストバンドを支給</p>  	<p>メリット： ・従業員の健康管理、熱中症への注意喚起が推進 ・一人一人が体調管理を行い、熱中症者は出なかった ・経口飲料水が好評で体調不良者の発生を防げた ・近年の夏期の猛暑にもかかわらず、工場内での重度の熱中症になった人はいない</p>	山形県、千葉県、京都府、奈良県、三重県
17	<p>夏期の熱中症対策として工場、屋外、社員トイレ等に掲示物を設置</p> 	<p>デメリット： 夏期の熱中症の危険箇所として工場、屋外に掲示物を設置していたが、エアコンがある室内において軽度の熱中症になった社員がおり、盲点だった</p>	山形県
18	事務員による体調チェック	<p>メリット： ・無理をさせないように事前に熱中症予防ができる ・問いかける事で、言いづらさも多少なくなる</p>	三重県
19	熱中症対策としてヘルメットを通気孔のあるタイプに変更	<p>メリット： ・ヘルメット内部に熱がこもるのを減らし効果が出ているように感じる</p>	奈良県
KY活動			
20	KY活動を行う	<p>メリット： ・KY活動が事故防止に役立っていると思う ・ラジオ体操はよい ・作業確認や安全対策の徹底ができていると思う ・安全意識の向上、危険予知 ・現場作業のような緊張感を持って工場作業を行えるようになった ・互いの顔色を見るなどを行い体調の変化にいち早く気付く事が出来る ・重大災害は起きていない ・工場内、またはヤード内の危険ポイントの周知が出来る。また、設備不良の確認が出来る ・内容がワンパターンになりがちだった為、講習会や安全大会で得た情報をKY活動でも共有する事とした ・個人の能力に合わせた作業環境を整えたり作業者同士の声掛け、指導が自発的に発生している。 無事故記録更新中 ・半日単位の作業進捗と、情報共有のコミュニケーションが良くなった</p>	北海道、新潟県、栃木県、福島県、静岡県、愛知県、滋賀県、鹿児島県、福岡県、鳥根県、石川県、大分県
21	GCへ全工事種の災害情報を受領し、社内共有	<p>メリット： ・鉄骨以外の災害について周知することで安全意識が向上した</p>	北海道
22	事故があると 事例に基づき共有し討論する	<p>メリット： ・KY活動につながった</p>	神奈川県、愛知県
23	社外で起きた事故の例などの情報をその都度全体に共有し、改めて安全に作業を進めてもらうようにした	<p>デメリット： ・経験が長い従業員が多いので普通の安全対策では、慣れのせいあまり意識付けが出来てないように感じた</p>	滋賀県
24	外国人実習生用に工場内の機械や掲示物・安全マニュアルに自国の言葉の表示をする	<p>メリット： ・安全に対して 言葉の壁をなくした</p> <p>デメリット： ・定期的に内容を変えるなどの対策は必要だと感じる。掲示物はあまり増えすぎると、目に留まらなかつたりする様になった。 今後は掲示場所を限定し、更新する事が大事だと話をした。 ・最初のころは気を付けて作業していたが、徐々に意識が薄くなったので</p>	神奈川県、奈良県、福岡県

25	入社一年未満の技能実習生のヘルメットに初心者マークのステッカーを貼る	メリット： ・一人作業をしていないか、工場内でどこにいるのかを速くからでも視認できるようになり 注意・指導をこまめに行えるようになった	奈良県
26	リスクアセスメント活動の実施	メリット： ・作業内容の再確認とその作業の危険について認識できる	宮崎県、佐賀県

整理整頓

27	定期的な安全通路の再塗装で安全通路の明確化	メリット： ・安全確保 ・事務などのデスクワークの人が打ち合わせ時 安全に 工場内へ入ることができた ・通路に製品が置いてある事(特に柱工場)がよくあったが、ほぼなくなった ・年末に毎年ラインを引く事により、安全通路が確保され、全員の安全意識が高まりました ・急な来客でも、安全に工場案内もできています・徹底することにより他の加工スペースも綺麗に使用できるようになりつまずき転倒などの事故が無くなった	北海道、石川県、三重県、兵庫県、長崎県、岩手県
28	通行路を緑の塗床にして、作業ゾーンとの区分けをしている	メリット： ・場内移動の際に安全に移動できるようになった ・ホイストでの鉄骨移動も周囲の安全確認がしやすくなった。	滋賀県
29	弊社では技能実習生、特定技能の外国人が多数おり口頭で言っても伝わらない事が多く、注意喚起掲示物のポスターなどを工場の随所に貼る	メリット： 最初はなんだこれ？と興味を示し理解はしてくれる デメリット： 慣れによってあまり意識が低下している	千葉県
30	塗装ヤードの砂利敷き、塗料による滑り、転倒災害の防止	メリット： 安全確保	北海道
31	工場内出入口への防滑塗装塗布	メリット： これまで工場出入口が雪のため滑りやすくなっていたが冬場の安全対策につながった	秋田県
32	工場の入り口扉に手や体が挟まったりしないようトラテープを貼って注意喚起をした	メリット： トラテープを貼ることで危ないシーンが減った デメリット： 夜暗くなると見えにくくなるので蓄光系のトラテープに張り替える予定	奈良県
33	整理整頓の徹底	メリット： ・事前の事故防止 (安全確保) ・工具を探す手間が減り、作業効率が改善した ・気持ちにゆとりを持って作業に取り組める ・怪我の減少、製作の誤作減少にも繋がる デメリット： ・整理整頓の手順等を共有する事が徹底出来ておらず、混乱する事がある	北海道、宮城県、東京都、埼玉県、三重県、滋賀県、大阪府、宮崎県、沖縄県、鹿児島県、福岡県、兵庫県、山梨県

防塵対策・保護具

34	溶接ヒュームの濃度測定・保護具のフィットテストの実施	メリット： ・溶接ヒュームについての法改正に対応	北海道
35	防塵対策で換気設備の増設	デメリット： ・改善はみられたが、期待値に達しなかった	京都府
36	保護具着用	メリット： ・定期的に指導することで保護具着用率が大きく向上した ・重大事故の減少 ・保護メガネ+シールド使用で目の災害が格段に減りました デメリット： ・保護メガネをせずシールドだけ使用して、作業している事が多く見られるので注意が必要	北海道、兵庫、鹿児島県、岩手県
37	ヘルメットの色分けを行っている 新入社員：赤/入社5年目まで：黄色/入社5年以上：白	メリット： ・赤色のヘルメットをみんなでサポートする体制が整った	徳島県
38	ヘルメットを工場内で被らないものがある為、被らない者を見つけたらペナルティを与える	メリット： ・今の所守られている	岩手県

落下防止

39	運搬業者が来た時に 親綱ロープを張る	メリット： ・業者の転落災害が減った	石川
40	積み込み時にトレーラー横に仮設足場・ステップ・作業台、昇降機を設けて作業している	メリット： ・転倒・転落防止 ・荷台からの飛び降り防止 ・転落しても作業台上に転落するので安全性は高まった ・昇降機は重量が軽いので社員からは評判がよい デメリット： ・作業性については、作業台が無い場合、スタンプを張り、安全帯を使用して作業となるため、非常に作業しにくい ・積み込み場所が限定される、安全柵をかわして製品を積み込むなど、作業性の悪い部分もある。 ・昇降機はそのままでは取付できない車種がある	北海道、青森県、大分県



			
41	現場で使用する脚立を足の伸縮調整するタイプに変え転倒防止の安全対策を行う	メリット： ・足元の不安定な場所でも水平に設置でき、バランスを崩すことなく作業を行って好評	奈良県
42	架台等から製品が落下しないよう、全ての架台に落下防止の角パイプの取付	メリット： ・製品の落下による事故がゼロ件になった	山口県
43	ホイストセンターにレーザーポインターを設置	メリット： ・ポインターを基準にすることにより荷振れが減少した	島根県
44	吊荷の移動時の合図徹底 天井クレーン使用時の笛吹きを実施し人払い・周知声掛けを徹底	メリット： ・溶接している作業員なども安心して作業出来ている ・笛が鳴ったら頭上を確認するようにしているので、死角で作業している人にも合図が行えている ・大声を出すのが苦手な人や外国人研修生も人払いの徹底が行えている	宮崎県
安全通路			
45	安全通路の確保の周知	メリット： ・安全通路に物を置くことがなくなった ・無事故期間の更新や全員で取り組んだことによる環境維持につながる	北海道、岩手県、山形県、沖縄県、大分県
46	従業員の作業スペースを明確に区分けし十分な広さを確保し作業に従事する	メリット： ・作業者と非作業者の接触事故の危険性がなくなる ・作業効率向上	岩手県
47	滑りやすい路面、出入口付近の目立つところに掲示物を設置、危険個所に融雪剤の散布	メリット： ・危険個所が分かりやすくなった為、対策後、冬期の凍結による転倒事故は発生していない ・本格的な冬期の前に勉強会もっており、社員の意識による予防も役に立つ	山形県
			
48	工場設備の突起等に蛍光テープの貼り付け (通路そばに製品など置かざる得ない場合にウエスなどを角などに掛けて、視覚的に目立たせ、ぶつけた際の緩衝材がわりにする)	メリット： ・どうしても暗くなってしまう作業場で注意箇所を視覚的に目に入るので自然と注意して作業出来るようになった	千葉県
49	工場内にあった段差を無くし、つまづき転倒の防止。他の段差部には端材を利用しスロープを作成	メリット： ・つまづき転倒の防止	奈良県
50	自動ライン部には人感センサーの設置	メリット： ・人感センサーで当初機械が止まることもあったが不必要な作業員の往来もないため良好	大分県
社内教育・安全教育			
51	.安全に関するDVDをレンタルし、職員で視聴、月に一度の安全教育 ゼネコンの安全教育映像で社員の安全教育をする	メリット： ・安全意識の向上と教育 ・動画や映像にて事故事例を確認し、安全に対する再確認を行える ・新人職人からベテラン職人まで、統一して安全の意識が高まる ・研修で教育ができる	北海道、山梨県、沖縄県、茨木県
52	業務での会合や懇親会等で飲酒した翌日の出勤時間の遅延を認めた（車で出勤する際のアルコールが抜ける時間を確保するため。又、集中力を回復させるために実施した）	メリット： ・当事者の健康面の考慮及び、交通事故を未然に防止することを緩和できた。又、家族への配慮へと繋がった	青森県
53	工具用の充電バッテリーは、自社の支給した物以外の使用を禁止した。海外製の機器及びメーカー不明の機器での発火事故を未然に防止する為。過去に近隣の整備工場にて海外製の充電器から充電中の爆発火災が起きたため	メリット： ・明確のルールとして周知したため、個々の災害意識の向上に繋がった。ヒヤリハットの一列として、社員教育にも実用した	青森県
54	バクッター対策のために会社内でのSNSは禁止	デメリット： ・残念ながらバクッターが出現してしまった	三重県
55	安全衛生委員会の発足	メリット： ・工場の安全・設備、保安、消防などのやり取りが属人化していたので、今後も後世に引継いでいければという考えで発足 ・発足して間がないので成果の確認までできないが、工場・事務所の主要メンバーで毎月委員会を開催 ・新しい発想や個々の安全に対する考えが認識でき、充実してる感じる	岡山県
56	期間を定めて、無災害達成時には全社員/全協力業者に対して一定額の報奨金を与える	メリット： ・全社員/全協力業者の安全に対する意識が変わる ・お互いに安全に対して、声掛けするようになる	山口県

57	海外実習生への指導では、安全に対する声かけを多くすると共に、教える側も実習生が真似をしてしまわないように正しい作業方法をするように心掛けをする（玉掛けの一点吊り等）	メリット： ・徐々に危険な行動はなくなってきたが、熟練になるほど楽をしていく傾向があり、まだまだ指導が必要	島根県
58	大きなけがに繋がるような作業をする場合は2人以上で声を掛け合いながら実施している また、危険な取り扱いをしている場合はお互いに注意、声をかけ指導しあう雰囲気づくり・体制がとれるように努力している	メリット： ・実際、事故が無くなった 製品を落してしまうことも無くなる	福岡県
59	積極的な玉掛け、クレーン等の技能講習会への参加や、講師を招いての勉強会を行う	メリット： ・講習会では様々な事例を知る事が出来る為、参加者の意識向上となる	福岡県
60	機械、ロボット等の新技術の導入（メーカーによる安全説明会では外国人労働者にも通訳の手配）	メリット： ・工場での危険を伴う工程や、粉塵が多く飛ぶ工程での作業員従事時間の低減となる	福岡県
61	残業時でも休憩は確実に行う	メリット： ・残業時は焦りからくる危険作業になりがちなので小休憩やコーヒータイムをとるようにしている ・ケガやミスがなくなる	大阪府
62	ヤードの門型クレーン操作時、音等で他の人に気づいてもらうようにした	メリット： ・作業中でも音で気付くため、作業員が接近することが無くなる	兵庫県
63	安全衛生委員会を設置し、ラジオ体操からT・B・Mを行い安全サイクルを回す環境を構築、また指差し呼称を取り組んでおり、毎月安全教育を全社員を対象に実施	メリット： ・社員の安全意識が高まっており、無事故・無災害を継続できる環境ができています	沖縄県
64	今年から社内での防災訓練を実施	メリット： ・今後も防災訓練の回数を増やす予定	沖縄県
65	令和6年度に、沖縄市と災害協定締結	メリット： ・大規模災害時の一時避難施設として、社屋の屋上に太陽光発電システムなど設置、自立電源を確保またシャワー・トイレを完備し水の確保も行う ・地域と連携し安全な街づくりを目指す	沖縄県
資格・免許			
66	月ごと交代で安全管理者の任命	メリット： ・一人一人が責任感を持つようになる	静岡県
67	技能資格取得を積極的に行う フォークリフトの無資格作業がかなり多かったが、無資格作業を禁止にした	メリット： ・本来は無資格作業は絶対ダメであるが…研修生の技能資格取得をどうするかが課題	三重県
安全指導			
68	日本人・外国人問わず、生活指導をする（健康診断の結果を踏まえて病院行きを促す）（生活の乱れがないか普段からよく本人を観察する）	メリット： ・事前に対処できる	三重県
機械メンテナンス			
69	機械・設備の定期的なメンテナンス。故障や不良品の発生を未然に防ぐ	メリット： ・稼働率の向上 トラブル防止と安全確保	京都府
安全目標・掲示板			
70	毎年、安全スローガンを社員全員で考案。採用された案についてインセンティブを支給している	メリット： ・事務所も含めた安全意識の向上、さぼり防止等多方面での管理	北海道
71	自社の安全対策 冬期間工場の水下の窓対策を怠った 	デメリット： ・2024年末から正月休みにかけての大雪により工場の窓ガラスが7枚割る。対策として水下には冬期間は窓格子を取付けて割れないようにする	青森県
72	就業前に1日の流れを確認し定期的にミーティングを行い安全対策などの周知	メリット： ・怪我無く業務にあたれている	京都府
73	月ごとの安全目標を設定 目標は工場全員で毎月交代で設定 朝礼場の掲示板に「～月度 安全目標」の紙を張り出し毎日朝礼時に全員が確認できるようにする	メリット： ・工場全員で交代で目標設定をすることにより、「今月の目標は何か」ということを各自意識して仕事に取り組める	滋賀県
74	工場内に安全標語の横断幕を設置 工場内目の付くところに、安全についてのポスター、基準等の掲示 朝礼・昼礼にて安全について再確認を行う	メリット： ・工場内では特に誰も見てくれないが、外部の人に対しては好評 ・各々が再確認をするようになる ・玉掛やクレーン操作の際の危険な操作が減る ・慣れによる意識低下の改善	奈良県、宮崎県、滋賀県
感電防止			
75	工場内の100Vコンセントにビリビリガードを取付した	メリット： ・工具や設備の老朽化により漏電してプレーカーが落ちることがしばしば起きていたが、漏電ヶ所を特定できるようになって良い ・設置の状況によってはコンセントの差し口が減る	奈良県

交通事故防止			
76	車使用時の後退時は必ず誘導の徹底	メリット： ・車上には発電機などあり後部が見にくい為事故を防げている	宮崎県
77	工事車両にドライブレコーダーを取付	メリット： ・運転者が安全運転を心がけるようになる	宮崎県
健康			
78	新規に喫煙所を設ける（完全分煙）	メリット： ・社員の健康・安全管理	北海道
79	ストレスチェックを実施	メリット： ・社員の健康・安全管理 メンタルヘルスの事前トラブル回避	北海道
クレーン点検			
80	クレーンの日次・月次・年次点検の確実な実施 年次点検時は内部まで確認し、消耗部品を交換	メリット： ・クレーントラブル減・安全確保	北海道
BCPの作成			
81	大規模地震発生時における緊急対応として非難経路の確認、工場内炭酸ガス配管破損を想定してコールドエバポレータ弁の開閉位置を確認する 大規模地震発生時緊急対応基準を参考に大規模な地震に係る防災及び減災対策、大規模地震後の措置について確認	メリット： ・普段は担当者が把握している内容であったが、社員全員で取扱いについて確認出来た 今後も講習会を定期的に開催して、設備管理・保安管理の向上につなげたい	岩手県
82	製造業のシートを基に自社の災害時・感染症BCP策定を行っています 事業継続力強化計画も策定・認定を受けています 定期的に更新することで安定した企業として存続を目指しています	メリット： ・災害時については、具体的に決めておかなければ動けないため大きな損害や被害を受けるため策定は重要だと改めて認識でき、定期的に活動や改良も必要なため継続できる体制づくりが今後の課題	山形県
83	BCP対策として社内でハザードマップ設置、工場内での避難経路も思索し掲示した	メリット： ・避難場所、経路、災害時の役割を共有することはできた デメリット： ・訓練するまでには至っていない	島根県